

【議事録】

審議会等名	令和4年度第2回つくばみらい市健康づくり推進協議会
開催日	令和5年3月8日（水曜日）
開催場所	つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室
出席者	<p>〔出席者〕 9名</p> <p>小田川 浩 会長</p> <p>町田 幸子 委員</p> <p>松本 敦 委員</p> <p>青木 一郎 委員</p> <p>岩井 千鶴 委員</p> <p>野田 秀平 委員</p> <p>秋田 政夫 委員</p> <p>松本 譲二 委員</p> <p>飯塚 伸泰 委員</p> <p>〔欠席者〕 1名</p> <p>磯部 剛志 委員</p> <p>〔事務局〕 保健福祉部長及び健康増進課 7名</p> <p>草間部長、関口課長、境野課長補佐、新関係長、堤精神保健福祉士、菅野管理栄養士、赤根主査</p>
議案	<p>(1) 令和4年度健康づくり事業の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進について</li> <li>・自殺対策について</li> <li>・食育推進について</li> </ul> <p>(2) その他</p>

議 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会 午前10時00分</li> <li>・会長あいさつ</li> <li>・議案</li> </ul> <p>(1) 令和4年度健康づくり事業の取組みについて</p> <p style="text-align: center;">＜事務局より健康増進について説明＞</p> <p>○委 員 ミニ教室にしても健診にしても良い取組みをしているしレベルアップもしているなど感じた。ただ、免許返納などで交通手段がなく、行きたくても行けない人がある。コミュニティセンターで行われる健診は、保健福祉センターで行われる健診よりも種類が少ない。また、ミニ教室で運動したくても足がなく保健福祉センターまで行けない。是非こういった人たちにもみなさんと同じ立場で行ける形を作っていただきたい。</p> <p>○事務局 交通の便は、健康づくり事業だけではなくいろいろなところで必要なものだと感じている。つくばみらい市に限らず、茨城県内では車がないと確かに不便である。つくばみらい市ではデマンドタクシー事業があるが、健診利用者はあまりその存在を知らないのこちらから案内をしている。また、コミュニティセンターで行う健診については、会場の都合上健診の道具をすべてセットすることが難しい。高齢者に必要な健診の種類を事業所と検討し、胃がん検診以外は実施しているところである。胃がん検診は、バリウム検診が高齢者にとって本当に適切なのかどうかを病院でも検討しているところが多く、今のところは追加できない状況である。ただ、受診したいという気持ちは理解できるので、かかりつけの医療機関で受診できる特定健診と人間ドックの助成を行っている。なるべくみなさんが受信できるように今後も対応していきたい。</p> <p>●承認</p> <p style="text-align: center;">＜事務局より自殺対策について説明＞</p> <p>○委 員 こころの健康相談のリーフレットを院内に置かせてもらっているが、すぐなくなってしまった。補充をお願いできるか。</p> <p>○事務局 準備してお届けする。</p> <p>○委 員 こころの健康相談については他人ごとではないと思った。</p>
---------	--

	<p>相談窓口を設置して、どのぐらいの件数があったのか。また、相談後のケアを継続的に続けているのか。</p> <p>○事務局 1日3枠を年6回、合計18枠で実施している。実施件数としては9人だが、実際は直前のキャンセルなどで来れなかった人や相談のタイミングが合わなかった人については、精神保健福祉士が個別で対応している。また、メンタルヘルスの相談も適宜実施しているが、本日時点で実人数は130件超え、新規で60件超えとなっている。これらは1回の相談で終わるものではなく、他の窓口との連携調整が必要で、1人に対して複数回関わったトータル件数でカウントすると600件から700件に上る。</p> <p>○委員 全国の自殺者数が前年比2.7%増、こどもの自殺者数が初めて500人を超えたという報道があった。このような状況の中、様々な啓発、他の窓口との連携をとって取り組んでいることを聞き大変嬉しく思う。是非これからも続けていってほしいと思う。</p> <p>●承認</p> <p>&lt;事務局より食育推進計画について説明&gt;</p> <p>○委員 我々のこども時代は、地産地消で地元のを有効に使って食べていた時代だった。朝食についても、日常生活で大切だということを伝えていく必要があると思うが、昔はどうしても体を動かす機会が多かったものだが、現在は体を動かす機会が減り、朝食を食べなくても大丈夫な時代になった。こういった時代背景もあるが、やはり朝食は一日のスタートで源でもあるし、大切なことであると説明を聞いて感じた。是非これからも朝食の大切さを啓発して欲しい。また、学校でも食育を教育して欲しい。スポーツにおいても、食べることと体を動かすことは密接な関係にありセットとして捉えていけたら良いと思う。</p> <p>それから、昔は地域でこどもが集まって自分たちの手でいろいろなものを作って食べる習慣・交流があり食の大切さを学んできたが、今はそういった経験をする機会がなかなかないので、説明であった教室などを通して食の大切さを伝えて欲しい。</p> <p>○委員 今は朝食を抜くこどもが多いので、「早寝、早起き、朝ごはん」という取組みを行った。早起きをしないと朝ごはんは食べられない。さらにおなかが空かないと食べられない</p>
--	---

	<p>ということで、「早寝、早起き、朝ごはん、そしてお手伝い」というスローガンを掲げて学校全体で取り組んだことがあった。結果として、朝食を抜くこどもが減りその大きさを分かってくれたと思う。ただ、偏食が多く、給食でも野菜をまったく食べないというこどもがいるが、今の指導は無理やり食べさせない。できるだけ少しずつ食べようねという指導であるため、偏食の改善はなかなか難しいし、親の偏食で親が食べないものはこどもも食べないという傾向になってしまう。ただ、つくばみらい市はこういった食育に取り組んでいるので、本市のこどもたちはだいぶ違ってきていると思う。児童クラブでは、おにぎり作りの紹介をしてくださるとのことだが、夏休み期間は弁当持参なので弁当作りの提案をしていただくとありがたい。それと、移動スーパーについて、先日利用しようと思いきり売り場へ行ったが到着して間もなく次の売り場へ行ってしまうということがあった。個人的な要望として滞在時間の延長をお願いしたい。</p> <p>○事務局 移動スーパーについては、担当課と共有する。</p> <p>○委員 農業体験をすることで野菜嫌いのこどもが減ると思う。谷原小学校では学校単位で、米作りを行っているが、今年が最後になると聞いた。できれば将来のこどもたちのためにも、学校単位で米作り野菜作りを継続して体験させてほしい。</p> <p>○会長 谷原小学校と十和小学校が統合するタイミングなので、谷原小学校として終了するのか、統合後の谷和原小学校で継続していくのか、確認する。</p> <p>○委員 食育基本法は伝えるのが難しいと感じている。ただ、食育の基本は食べる力は生きる力であり、この理念に向かって進めていただければと思う。この食を伝える難しさをみんなで興味をもって見事にPRしているなど感心している。これからももっと詰めていってほしい。</p> <p>○委員 市長が新年のあいさつで「地産地消」を掲げたが、食生活改善推進協議会でも食文化の継承を行っていこうと同じく活動をしている。非常に嬉しく思っている。食事が単におなかを満たすだけのものになっていないかが危惧される場所である。運動と食事がセットであると先ほどあったが、本当にその通りで、ヘルシークッキング教室などを通して、運動の大切さを各教室の前段で話をさせてもらった。親子クッキング教室では、前日が運動会ということもあり、疲れているのではないかと思</p>
--	--

っていたが、親子で楽しく参加していただき、「おいしかった」「もっと食べたかった」といった笑顔での感想が聞けたことが非常に嬉しかった。さくらまつりでは、炊き込みご飯とてんぷらにおしんこを付けて提供させてもらったが、2か月前に転入した若い夫婦から「いいところですね」と声をかけられ、しみじみとつくばみらい市の良さを話す機会があった。本当にこんなに野菜がおいしくとれる地域はないと思うし、調理実習をするときもなるべく地元のものを使っている。それから、こども食堂においてはコロナ禍のため、弁当形式で持ち帰っての個食となっている。徐々に会食形式になればいいなと思っている。こどもは一人で食事をしたら好きなものしか食べないので、個食というのは好ましくない。会食であれば、嫌いなものも少しずつ食べてみようといった声掛けをこどもに対してできると思う。

○委員 つくばみらい市ならではの小回りの利いた様々な施策に感銘を受けた。特に体験ものなどはこどもたちにとっても非常に心に残り郷土愛に繋がるもので、準備は大変だと思うが定期的実施していただきたいと思う。それと、市内の食育担当者連絡会議についても非常に良い取り組みだと思う。市職員と民間の方々にも参加してもらい、企画場合によってはボランティアにもなってもらえることもあるので是非予算をつけていていただきたい。

○会長 学校で朝ごはんを出したらどうかという提案をしている。アメリカで実施している地域もあると聞いているので、それだけ考えなければいけない問題なのかなと思うので、何とかあきらめず提案し続けたいと思っている。今回の定例会では、市内の米消費拡大を目的に「お米を食べよう条例」を上程している。議決されれば4月からスタートすることになっているが、地産地消に向かう機運になればと思っている。つくばみらい市の米をPRし、まずはつくばみらい市民が市内産の米をたくさん食べるという取り組みをしていきたい。

●承認

(2) その他

	<p>○事務局 委員の任期については2年となっており、今年3月末をもって満了となる。規定上再任は妨げないので、新年度になってから改めて個別に相談したい。また、令和5年度第1回の会議は6月を予定している。決まり次第案内するので引き続き協力をお願いしたい。</p> <p>・ 閉会 午前11時20分</p>
そ の 他	傍聴者 0人